

皆様に支えられ遺愛吹奏楽局、横浜大会で 最高の演奏ができました!!

11月12日（土）・13日（日）横浜市みなとみらいホールで『第24回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜』が開催されました。北海道推薦された遺愛吹奏楽局は12日15:00から124名で、15分間の間に『マードックからの最後の手紙（2021年版）』と『愛吹ヒットパレード』の2曲を演奏しました。局員の心が一つになり、とても素敵な笑顔で、伸びやかに演奏をしていました。『ヒットパレード』の最後は『宝島』で、演奏、隊列、笑顔が完璧で、目がうるうるしてきて本当に感動的でした。

保護者・家族が函館から100名以上かけつけ、同窓会東京支部の同窓生が20名以上応援に来てくださいました。演奏中に同窓生の皆さんは横断幕を掲げ、後輩たちにエールを送り続けていました。

今回の出場にあたっては、北海道からですので生徒の旅費・宿泊費・楽器輸送代などで800万円以上かかり、生徒負担分だけでは賄いきれず、当然学校からの支援、そして函館の同窓生が中心になって寄付を募ってくださり、300万円以上集まりました。

さらに、教育連携協定を結んでいる明治学院大学様には、前日の午後および当日の午前に、練習会場として横浜キャンパスのチャペルをお借りし、最後の調整をできたことに心から感謝します。特に学長の村田玲音先生には大変お世話になりました。

また、遺愛吹奏楽局は40年以上前に遺愛の音楽教師だった成田（旧姓・福田）恭子さんが生徒共に立ち上げたのですが、病気で急逝した今年の9月まで遺愛同窓会長として吹奏楽局を支えてくれました。この大会で応援するのを楽しみにしていただけに無念な気持ちだったと思いますが、彼女の思いが演奏する局員達にしっかりと届いて、素晴らしい演奏につながったのだと確信しています。

たくさんの方々に支えていただき、結果は、金賞に相当する連盟会長賞を受賞し、来年のシード権を獲得しました。



演奏終了後の記念写真準備



みなとみらいの巨大ツリー

2022年11月16日（水）